

第 72 回「山形県内企業の景気動向調査」速報

(令和 4 年 8 月調査)

～景況感は足踏み状態。先行きは悪化の見通し～

【 調査の要旨 】

- **県内企業の業況**は、自社の業況判断を示す「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が 0.3（前回調査比 0.5 ポイント下落）と **小幅ながら 3 期ぶりの悪化**となった。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「売上高」が悪化となった一方、「営業利益」「資金繰り」は改善となった。「人員・人手」はプラス幅が拡大した。
- **業種別**に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると建設業が▲13.2（前回調査比 6.7 ポイント下落）、製造業が 11.0（前回調査比 4.8 ポイント下落）、卸・小売業が▲18.0（前回調査比 4.6 ポイント上昇）、サービス業が 19.1（前回調査比 4.8 ポイント上昇）と、建設業と製造業で悪化、卸・小売業とサービス業で改善となった。
- **地域別**に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、村山南部が▲5.5（前回調査比 7.6 ポイント上昇）、村山北部が▲3.8（前回調査比 24.2 ポイント下落）、最上が 14.3（前回調査比 12.0 ポイント上昇）、置賜が▲6.7（前回調査比 8.5 ポイント下落）、庄内田川が 8.7（前回調査比 1.2 ポイント上昇）、庄内飽海が 0.0（前回調査比 3.0 ポイント上昇）と、村山北部と置賜で悪化、その他の 4 地域で改善となり、村山北部と置賜で D I 値がマイナスに転じた。
- **先行き見通し**は「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲14.1（今回調査比 14.4 ポイント下落）と悪化が見込まれている。総じて仕入れ価格高騰などによる企業の負担は大きく、景況感の回復には停滞感がみられ、足踏み状態となっている。加えて、新型コロナウイルス感染症の第 7 波や海外情勢の影響がもたらす業況悪化を危惧する動きから、慎重な見通しは今後も続くものと考えられる。

【特別調査】

- **設備投資動向**について尋ねたところ、全業種でみると、「実施する（した）」と回答した企業の割合は 37.9%と、前年度に比べ 1.8 ポイントの低下となった。一方、「実施しない」は 45.1%と 3.1 ポイントの上昇となった。

令和 4 年 9 月

株式会社 フィデア情報総研

目次

I.	県内企業の業況	1
1.	概況	1
2.	業種別の動向	2
(1)	業種別の概況	2
(2)	業種別 D I 値の動向	3
①	建設業	3
②	製造業	4
③	卸・小売業	5
④	サービス業	6
3.	地域別の動向	7
(1)	地域別の概況	7
(2)	地域別 D I 値の動向	8
①	村山南部	8
②	村山北部	9
③	最 上	10
④	置 賜	11
⑤	庄内田川	12
⑥	庄内飽海	13
II.	景気の天気予報図	14
III.	特別調査	15
1.	設備投資動向について	15
(1)	設備投資動向	15
(2)	設備投資金額	18
(3)	設備投資目的	19
	<参考資料 I : 地域別・業種別回答率>	21
	<参考資料 II : 調査の概要>	21

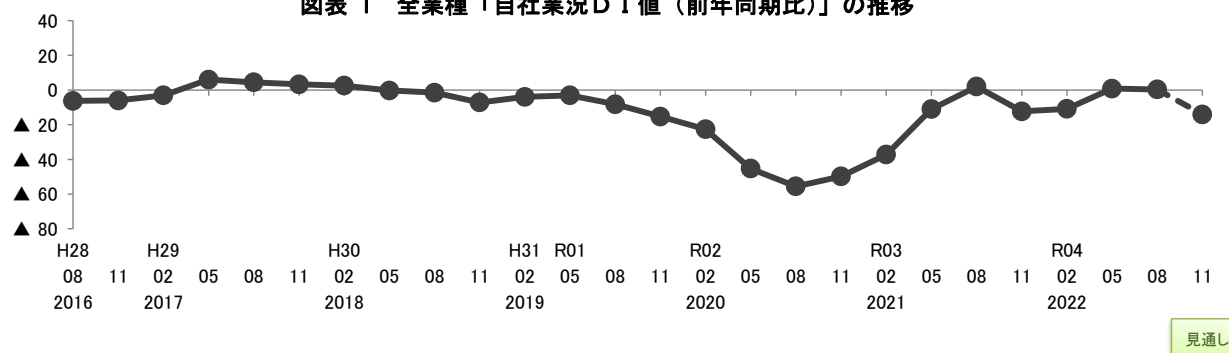
I. 県内企業の業況

1. 概況

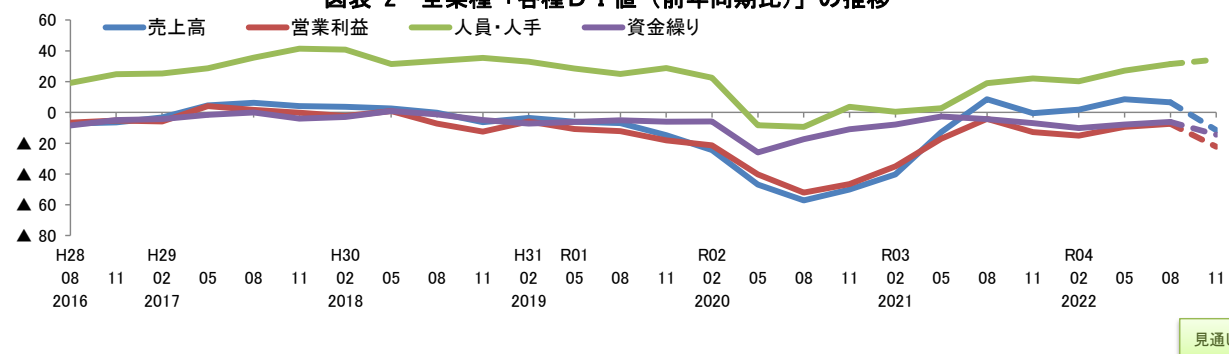
県内企業の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が 0.3（前回調査比 0.5 ポイント下落）と小幅ながら 3 期ぶりの悪化となった。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「売上高」が悪化となった一方、「営業利益」「資金繰り」は改善となった。「人員・人手」はプラス幅が拡大した。

先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲14.1（今回調査比 14.4 ポイント下落）と悪化が見込まれている。総じて仕入れ価格高騰などによる企業の負担は大きく、景況感の回復には停滞感がみられ、足踏み状態となっている。加えて、新型コロナウイルス感染症の第 7 波や海外情勢の影響がもたらす業況悪化を危惧する動きから、慎重な見通しは今後も続くものと考えられる。

図表 1 全業種「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 2 全業種「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

山形県 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	全業種	前回調査比	前回調査予測				
R 03. 08 (n=393)	2.0	(13.0)	▲ 16.2	8.6	▲ 4.1	19.0	▲ 4.3
R 03. 11 (n=398)	▲ 12.3	(▲ 14.3)	▲ 15.5	▲ 0.5	▲ 12.8	22.1	▲ 7.0
R 04. 02 (n=384)	▲ 10.9	(1.4)	▲ 9.1	1.8	▲ 15.1	20.3	▲ 10.2
R 04. 05 (n=406)	0.8	(11.7)	▲ 28.9	8.6	▲ 9.4	27.1	▲ 7.9
R 04. 08 (n=390)	0.3	(▲ 0.5)	▲ 10.6	6.6	▲ 7.4	31.5	▲ 6.1
前回調査比	-	-	-	(▲ 2.0)	(2.0)	(4.4)	(1.8)
先行き見通し	▲ 14.1	-	-	▲ 11.5	▲ 22.3	34.3	▲ 14.4
今回調査比	(▲ 14.4)	-	-	(▲ 18.1)	(▲ 14.9)	(2.8)	(▲ 8.3)

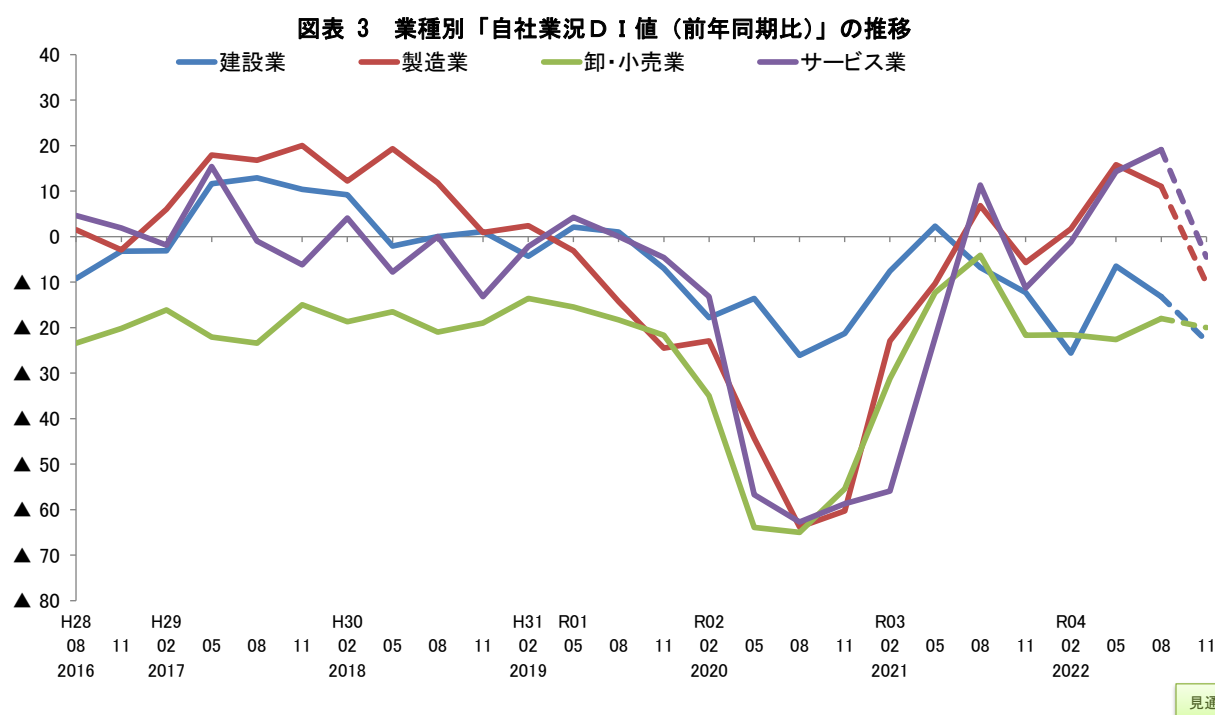
※「売上高」D I 値は建設業の「完成工事高」を含んだ数値

2. 業種別の動向

(1) 業種別の概況

業種別に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、建設業が▲13.2（前回調査比 6.7 ポイント下落）、製造業が 11.0（前回調査比 4.8 ポイント下落）、卸・小売業が▲18.0（前回調査比 4.6 ポイント上昇）、サービス業が 19.1（前回調査比 4.8 ポイント上昇）と、建設業と製造業で悪化、卸・小売業とサービス業で改善となった。

業況の先行き見通しは、すべての業種で悪化の見込みとなっている。



前年同期比の自社業況 D I 値

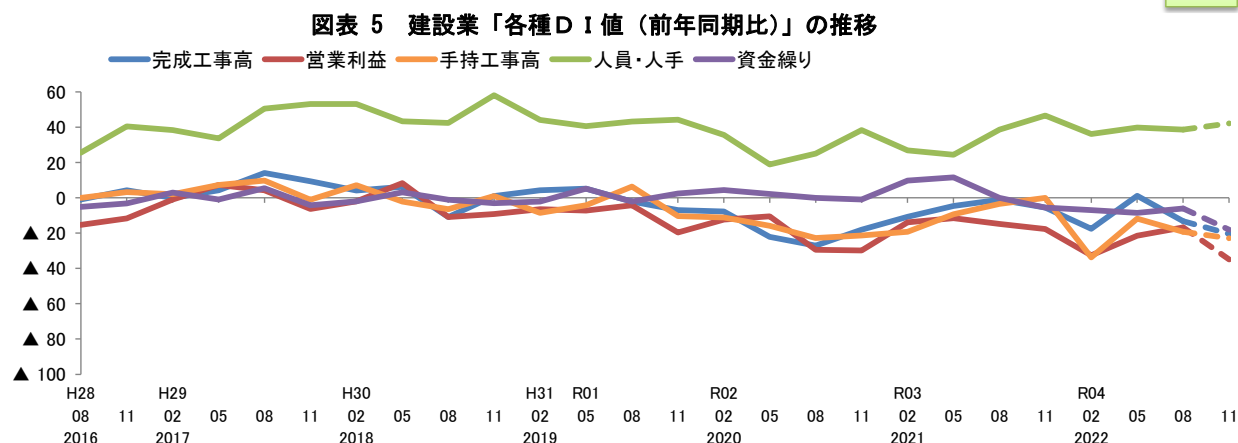
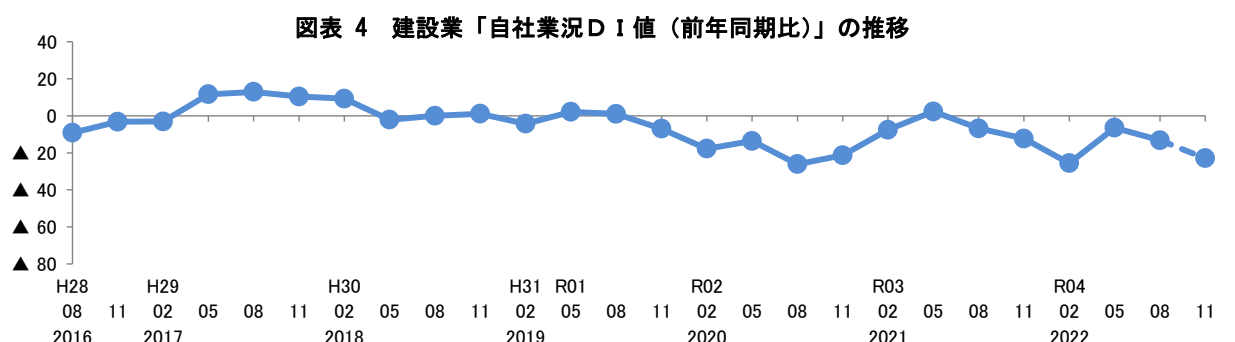
業種別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）				
	全業種	建設	製造	卸・小売	サービス
R 03. 08 (n=393)	2.0	▲ 6.8	6.8	▲ 4.1	11.3
R 03. 11 (n=398)	▲ 12.3	▲ 12.3	▲ 5.7	▲ 21.7	▲ 11.3
R 04. 02 (n=384)	▲ 10.9	▲ 25.6	1.7	▲ 21.6	▲ 1.2
R 04. 05 (n=406)	0.8	▲ 6.5	15.8	▲ 22.6	14.3
R 04. 08 (n=390)	0.3	▲ 13.2	11.0	▲ 18.0	19.1
前回調査比	(▲ 0.5)	(▲ 6.7)	(▲ 4.8)	(4.6)	(4.8)
先行き見通し	▲ 14.1	▲ 22.9	▲ 10.2	▲ 20.0	▲ 4.5
今回調査比	(▲ 14.4)	(▲ 9.7)	(▲ 21.2)	(▲ 2.0)	(▲ 23.6)

(2) 業種別 D I 値の動向

① 建設業

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲13.2（前回調査比 6.7 ポイント下落）と、前期の好転から再び悪化する動きとなっている。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「営業利益」と「資金繰り」が改善した一方、「完成工事高」と「手持工事高」は悪化し、「完成工事高」は再びマイナスに転じた。「人員・人手」はプラス幅が縮小した。各社のコメントによると、資材価格の高騰が利益を圧迫しており、業況は先行きも含めて厳しい状況にあることがうかがえる。また、作業員の高齢化などによる人手不足も依然深刻であり、若年層の採用、技術者の確保を喫緊の課題として挙げる内容が多くみられた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲22.9（今回調査比 9.7 ポイント下落）と悪化が見込まれている。



前年同期比の自社業況 D I 値

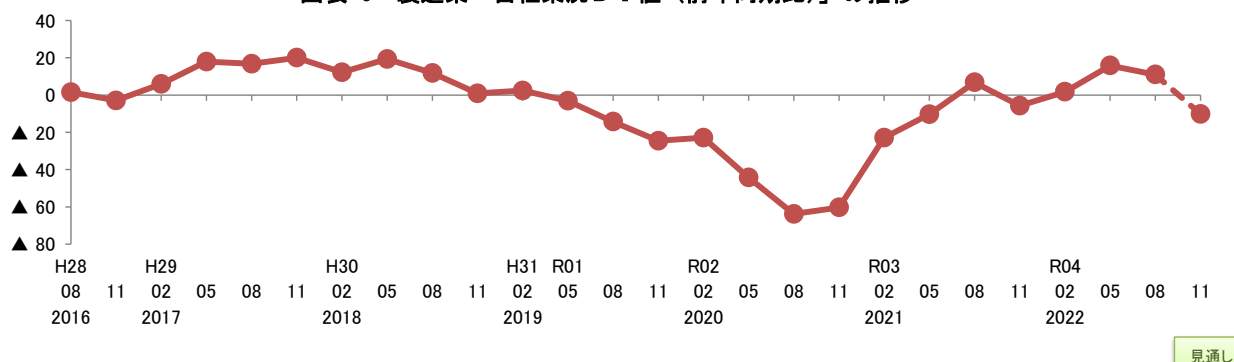
建設業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			完成 工事高	営業 利益	手持 工事高	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測						
R 03. 08 (n=88)	▲ 6. 8	(▲ 9. 1)	▲ 16. 3	▲ 1. 1	▲ 14. 8	▲ 3. 4	38. 6	0. 0
R 03. 11 (n=90)	▲ 12. 3	(▲ 5. 5)	▲ 23. 9	▲ 5. 6	▲ 17. 7	0. 0	46. 6	▲ 5. 6
R 04. 02 (n=86)	▲ 25. 6	(▲ 13. 3)	▲ 23. 3	▲ 17. 5	▲ 32. 6	▲ 33. 7	36. 1	▲ 7. 0
R 04. 05 (n=93)	▲ 6. 5	(19. 1)	▲ 41. 8	1. 1	▲ 21. 5	▲ 11. 8	39. 8	▲ 8. 6
R 04. 08 (n=83)	▲ 13. 2	(▲ 6. 7)	▲ 26. 8	▲ 13. 2	▲ 16. 8	▲ 19. 2	38. 6	▲ 6. 1
	前回調査比	-	-	(▲ 14. 3)	(4. 7)	(▲ 7. 4)	(▲ 1. 2)	(2. 5)
先行き見通し	▲ 22. 9	-	-	▲ 20. 4	▲ 35. 0	▲ 22. 9	42. 2	▲ 18. 1
	今回調査比	(▲ 9. 7)	-	(▲ 7. 2)	(▲ 18. 2)	(▲ 3. 7)	(3. 6)	(▲ 12. 0)

② 製造業

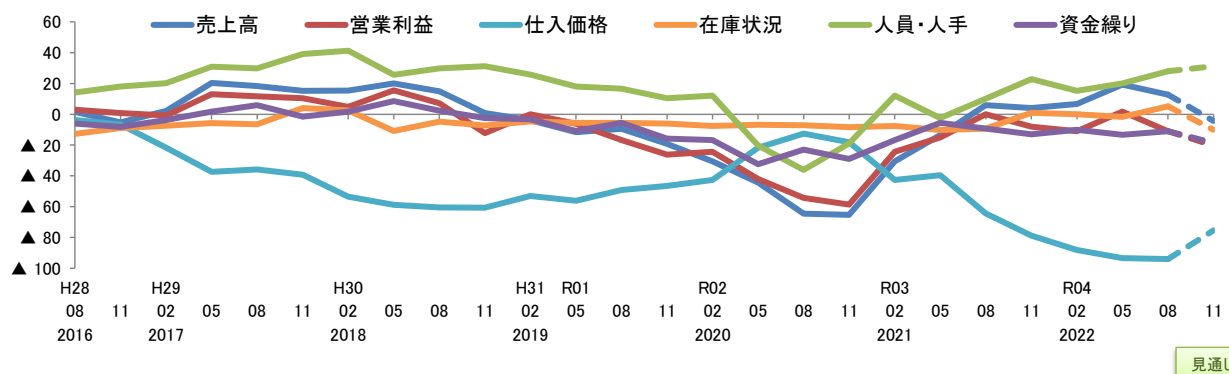
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は 11.0（前回調査比 4.8 ポイント下落）と 3 期ぶりに悪化となった。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「在庫状況」と「資金繰り」は改善したものの、「売上高」「営業利益」「仕入れ価格」は悪化した。「営業利益」で D I 値がマイナスに転じた一方、「在庫状況」はプラスに転じた。「人員・人手」は 2 期連続でプラス幅が拡大した。各社のコメントから、半導体関連で堅調な動きがみられた一方、一部の自動車関連では業況の厳しさがうかがえた。仕入れの長納期化、原材料費や燃料費の高騰が続いており、先行きに対する不透明感は今後ますます強くなっていくものと予測される。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲10.2（今回調査比 21.2 ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれている。

図表 6 製造業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 7 製造業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

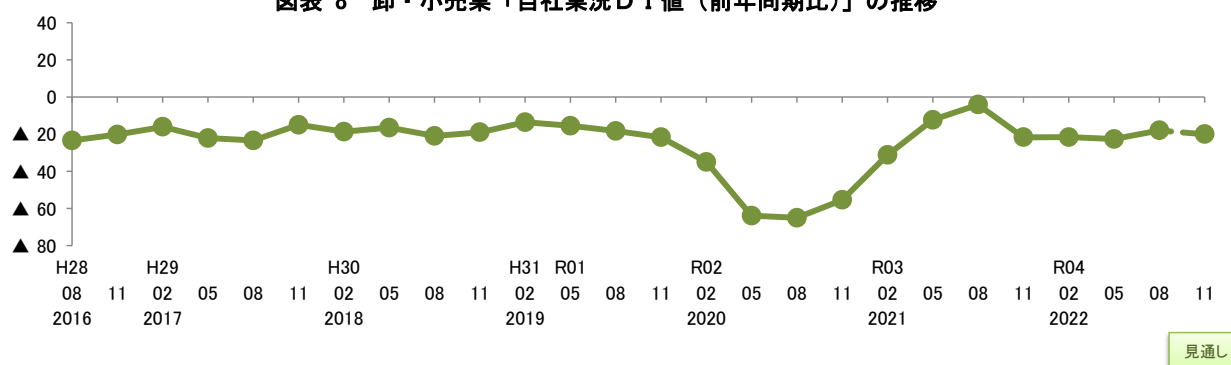
製造業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測							
R 03. 08 (n=118)	6.8	(17.1)	▲ 8.7	5.9	0.0	▲ 64.5	▲ 9.3	10.1	▲ 9.3
R 03. 11 (n=123)	▲ 5.7	(▲ 12.5)	▲ 4.3	4.1	▲ 8.1	▲ 78.9	0.9	22.8	▲ 13.0
R 04. 02 (n=118)	1.7	(7.4)	0.8	6.7	▲ 11.0	▲ 88.2	0.0	15.3	▲ 10.1
R 04. 05 (n=120)	15.8	(14.1)	▲ 17.8	19.2	1.7	▲ 93.4	▲ 1.7	20.0	▲ 13.3
R 04. 08 (n=118)	11.0	(▲ 4.8)	▲ 5.9	12.7	▲ 11.0	▲ 94.1	5.1	28.0	▲ 11.0
前回調査比	-	-	-	(▲ 6.5)	(▲ 12.7)	(▲ 0.7)	(6.8)	(8.0)	(2.3)
先行き見通し	▲ 10.2	-	-	▲ 4.3	▲ 20.3	▲ 75.5	▲ 10.1	31.3	▲ 18.6
今回調査比	(▲ 21.2)	-	-	(▲ 17.0)	(▲ 9.3)	(18.6)	(▲ 15.2)	(3.3)	(▲ 7.6)

③ 卸・小売業

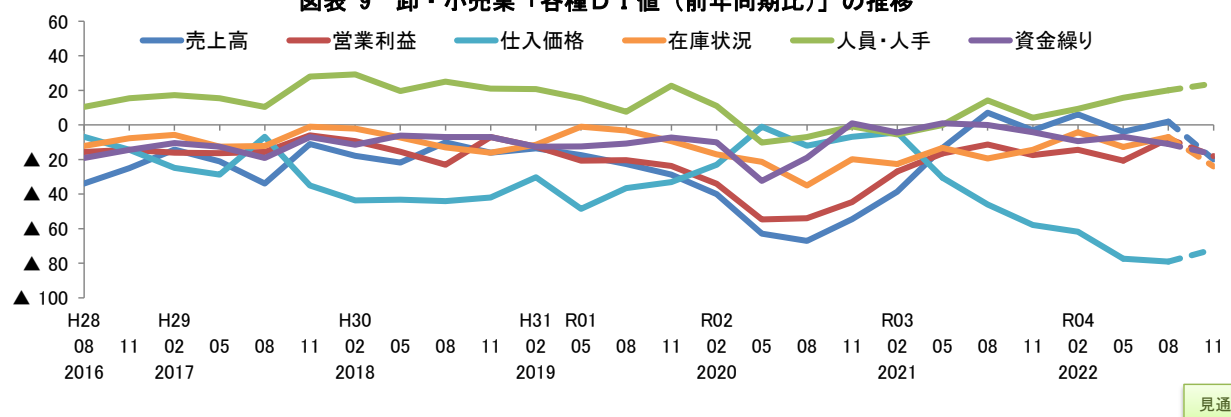
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲18.0（前回調査比 4.6 ポイント上昇）と小幅ながら改善となった。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「仕入価格」と「資金繰り」が悪化、「売上高」「営業利益」「在庫状況」が改善となり、「売上高」は再びプラスに転じた。「人員・人手」は 3 期連続でプラス幅が拡大した。各社のコメントからは、仕入れコストの増加が大きな負担となっているものの、値上げには慎重にならざるを得ず、引き続き販売価格の設定に苦慮している状況が見受けられた。また、建設機械や自動車など年単位で入荷が先になる製品もあり、調達難が売り上げに及ぼす影響を懸念するコメントも複数みられる。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲20.0（今回調査比 2.0 ポイント下落）と、悪化が見込まれている。

図表 8 卸・小売業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 9 卸・小売業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

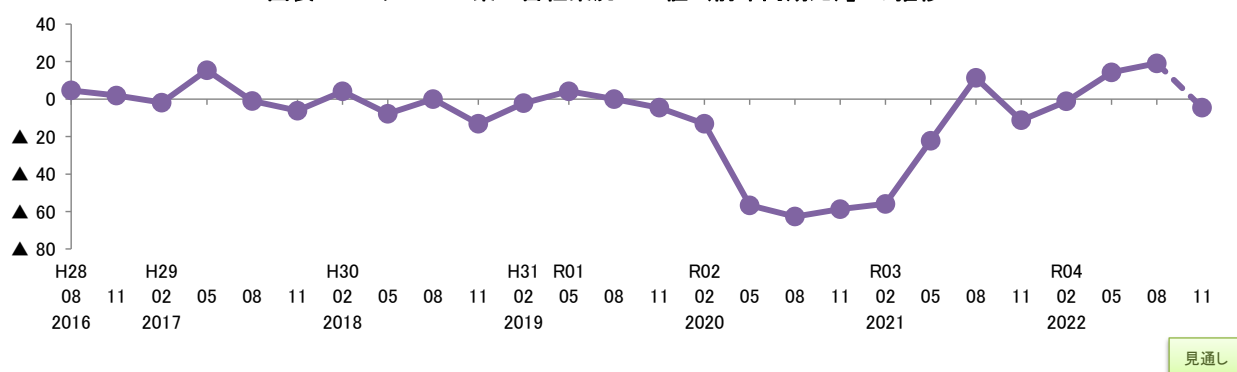
卸・小売業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員・人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
R 03. 08 (n=98)	▲ 4.1	(8.2)	▲ 22.4	7.1	▲ 11.3	▲ 46.0	▲ 19.4	14.2	0.0
R 03. 11 (n=97)	▲ 21.7	(▲ 17.6)	▲ 20.4	▲ 3.1	▲ 17.5	▲ 57.8	▲ 14.4	4.1	▲ 4.2
R 04. 02 (n=97)	▲ 21.6	(0.1)	▲ 12.4	6.1	▲ 14.4	▲ 61.8	▲ 4.2	9.3	▲ 9.3
R 04. 05 (n=102)	▲ 22.6	(▲ 1.0)	▲ 33.0	▲ 3.9	▲ 20.6	▲ 77.4	▲ 12.7	15.7	▲ 6.8
R 04. 08 (n=100)	▲ 18.0	(4.6)	▲ 17.7	2.0	▲ 8.0	▲ 79.0	▲ 7.0	20.0	▲ 11.0
前回調査比	-	-	-	(5.9)	(12.6)	(▲ 1.6)	(5.7)	(4.3)	(▲ 4.2)
先行き見通し	▲ 20.0	-	-	▲ 20.0	▲ 18.0	▲ 72.0	▲ 24.0	24.0	▲ 17.0
今回調査比	(▲ 2.0)	-	-	(▲ 22.0)	(▲ 10.0)	(7.0)	(▲ 17.0)	(4.0)	(▲ 6.0)

④ サービス業

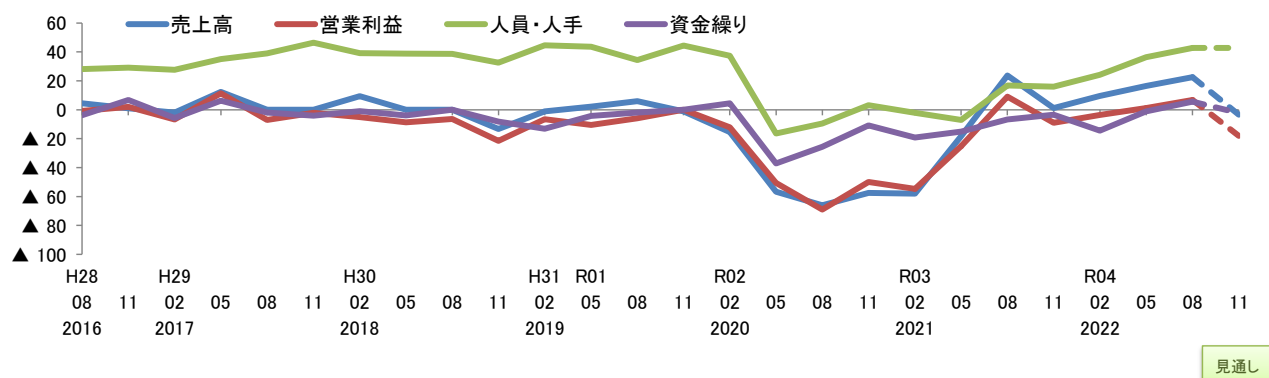
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は 19.1（前回調査比 4.8 ポイント上昇）と 3 期連続で改善となった。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、すべての項目で改善となり、「資金繰り」はプラスに転じた。「人員・人手」は 3 期連続でプラス幅が拡大した。各社のコメントによると、産業廃棄物処理業など一部の企業ではウクライナ情勢や新型コロナウイルス感染状況の影響は少なく、堅調な動きがみられる。しかし、他の業種では、足元の感染急拡大によって再び客足が遠のき、収益の悪化が予想されるため、見通しは厳しいとする内容が目立った。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲4.5（今回調査比 23.0 ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれている。

図表 10 サービス業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 11 サービス業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

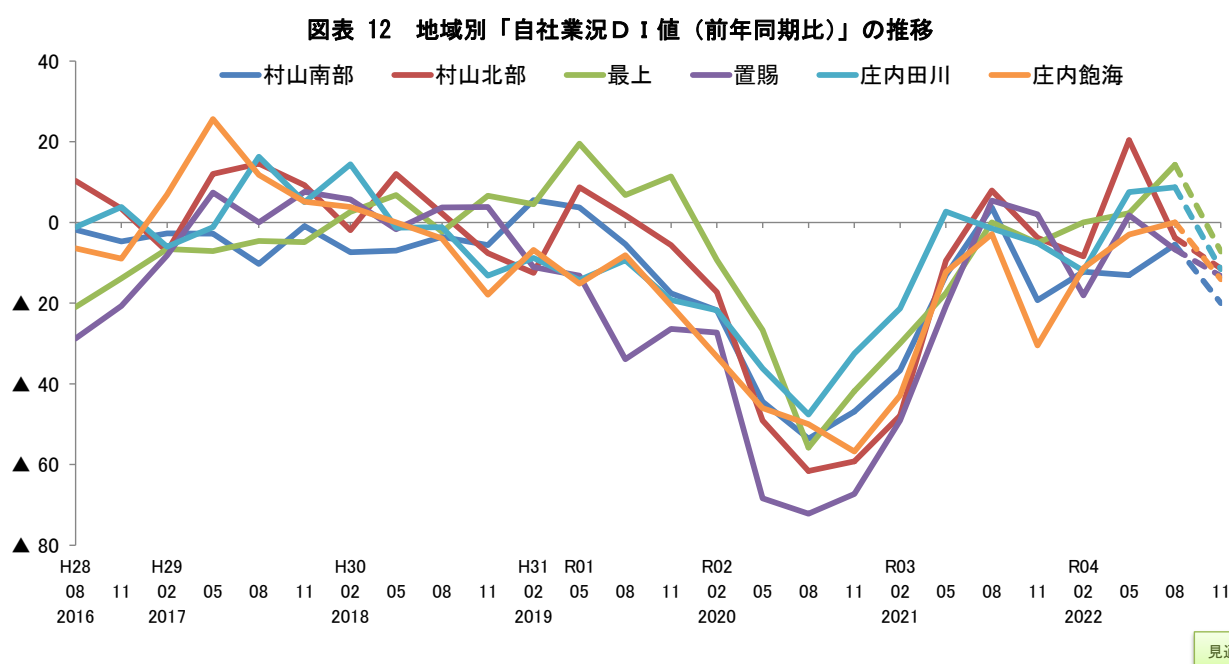
サービス業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測					
R 03.08 (n=89)	11.3	(33.5)	▲ 19.2	23.6	9.0	16.8	▲ 6.7
R 03.11 (n=88)	▲ 11.3	(▲ 22.6)	▲ 16.9	1.2	▲ 9.1	15.9	▲ 3.4
R 04.02 (n=83)	▲ 1.2	(10.1)	▲ 4.6	9.6	▲ 3.6	24.1	▲ 14.5
R 04.05 (n=91)	14.3	(15.5)	▲ 26.6	16.5	1.1	36.3	▲ 1.1
R 04.08 (n=89)	19.1	(4.8)	7.7	22.5	6.8	42.7	5.6
前回調査比	-	-	-	(6.0)	(5.7)	(6.4)	(6.7)
先行き見通し	▲ 4.5	-	-	▲ 3.4	▲ 18.0	42.7	▲ 2.3
今回調査比	(▲ 23.6)	-	-	(▲ 25.9)	(▲ 24.8)	(0.0)	(▲ 7.9)

3. 地域別の動向

(1) 地域別の概況

地域別に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、村山南部が▲5.5（前回調査比 7.6 ポイント上昇）、村山北部が▲3.8（前回調査比 24.2 ポイント下落）、最上が 14.3（前回調査比 12.0 ポイント上昇）、置賜が▲6.7（前回調査比 8.5 ポイント下落）、庄内田川が 8.7（前回調査比 1.2 ポイント上昇）、庄内飽海が 0.0（前回調査比 3.0 ポイント上昇）と、村山北部と置賜で悪化、その他の 4 地域で改善となり、村山北部と置賜で D I 値がマイナスに転じた。

業況の先行き見通しをみると、すべての地域で悪化が見込まれている。



前年同期比の自社業況 D I 値

地域別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）						
	全地域	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
R 03.08 (n=393)	2.0	3.7	7.9	0.0	5.4	▲ 1.5	▲ 2.9
R 03.11 (n=398)	▲ 12.3	▲ 19.3	▲ 3.8	▲ 5.1	2.0	▲ 5.1	▲ 30.5
R 04.02 (n=384)	▲ 10.9	▲ 12.2	▲ 8.4	0.0	▲ 18.1	▲ 12.0	▲ 11.3
R 04.05 (n=406)	0.8	▲ 13.1	20.4	2.3	1.8	7.5	▲ 3.0
R 04.08 (n=390)	0.3	▲ 5.5	▲ 3.8	14.3	▲ 6.7	8.7	0.0
前回調査比	(▲ 0.5)	(7.6)	(▲ 24.2)	(12.0)	(▲ 8.5)	(1.2)	(3.0)
先行き見通し	▲ 14.1	▲ 20.0	▲ 11.4	▲ 7.2	▲ 13.3	▲ 11.6	▲ 14.1
今回調査比	(▲ 14.4)	(▲ 14.5)	(▲ 7.6)	(▲ 21.5)	(▲ 6.6)	(▲ 20.3)	(▲ 14.1)

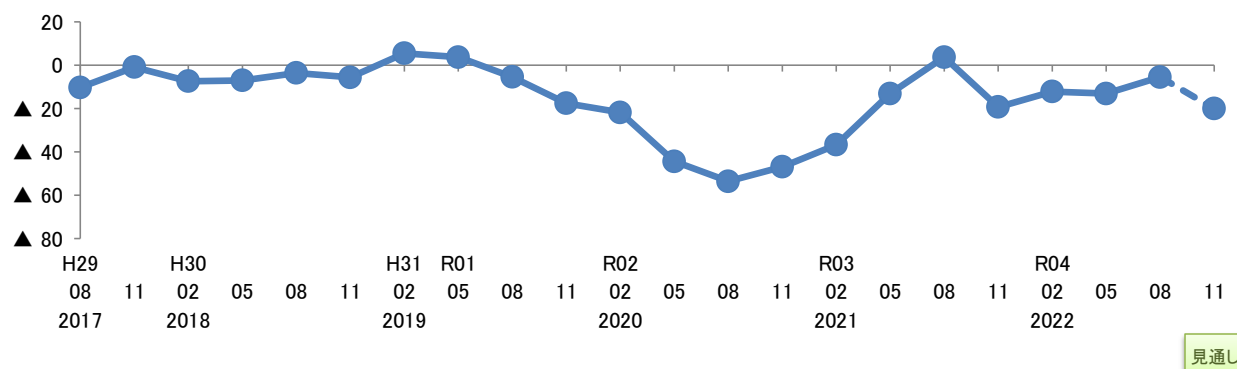
(2) 地域別 D I 値の動向

① 村山南部

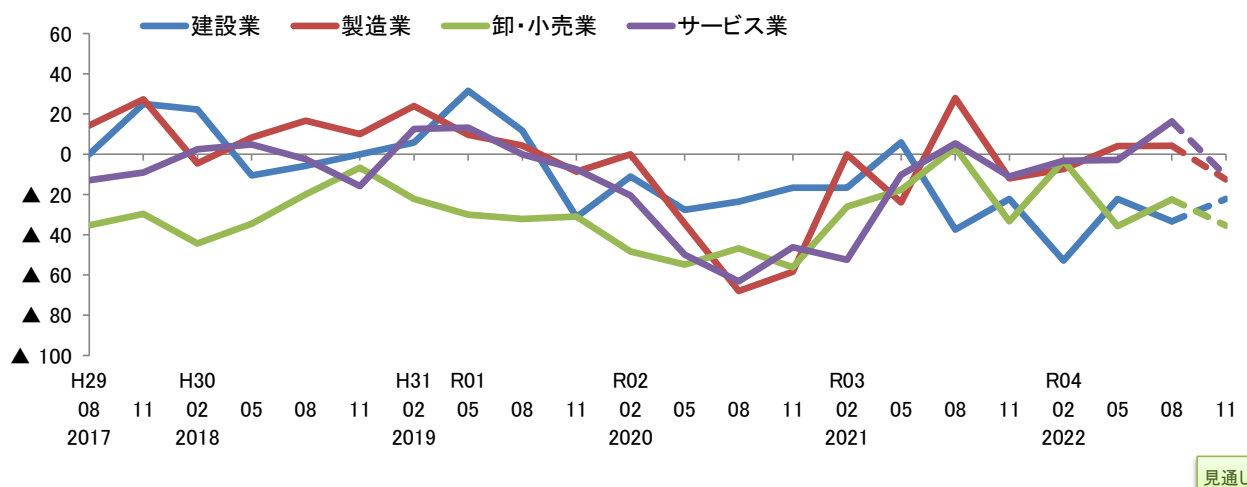
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲5.5（前回調査比 7.6 ポイント上昇）と前期の後退から再び改善の動きとなっている。業種別にみると、製造業はほぼ横ばい、建設業は悪化、卸・小売業とサービス業は改善となり、サービス業で D I 値がプラスに転じた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲20.0（今回調査比 14.5 ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

図表 13 村山南部「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 14 村山南部「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

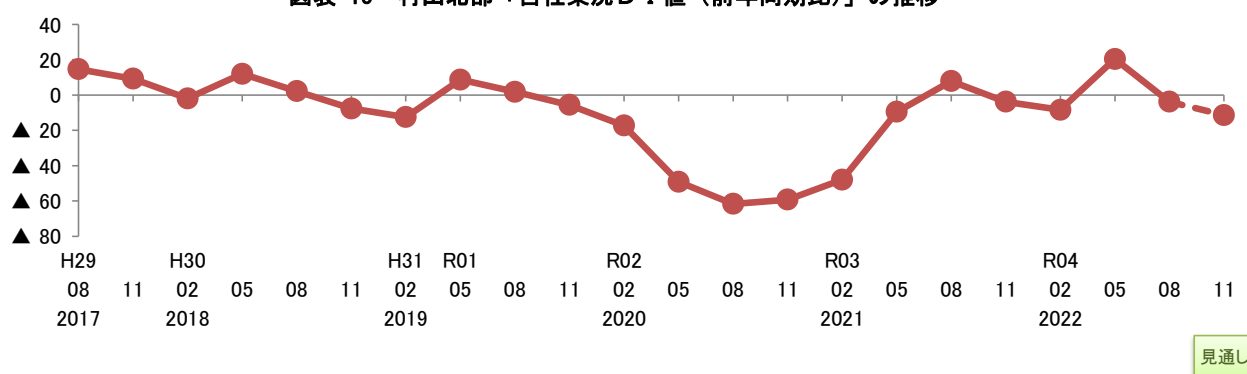
村山南部 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 03.08 (n=108)	3.7	(16.8)	▲ 16.5	▲ 37.5	28.0	3.3	5.4
R 03.11 (n=109)	▲ 19.3	(▲ 23.0)	▲ 17.6	▲ 22.2	▲ 12.0	▲ 33.3	▲ 11.1
R 04.02 (n=107)	▲ 12.2	(7.1)	▲ 18.3	▲ 52.9	▲ 7.4	▲ 3.3	▲ 3.2
R 04.05 (n=107)	▲ 13.1	(▲ 0.9)	▲ 27.1	▲ 22.2	4.0	▲ 35.7	▲ 2.8
R 04.08 (n=110)	▲ 5.5	(7.6)	▲ 19.7	▲ 33.3	4.2	▲ 22.5	16.2
前回調査比	-	-	-	(▲ 11.1)	(0.2)	(13.2)	(19.0)
先行き見通し	▲ 20.0	-	-	▲ 22.2	▲ 12.5	▲ 35.5	▲ 10.8
今回調査比	(▲ 14.5)	-	-	(11.1)	(▲ 16.7)	(▲ 13.0)	(▲ 27.0)

② 村山北部

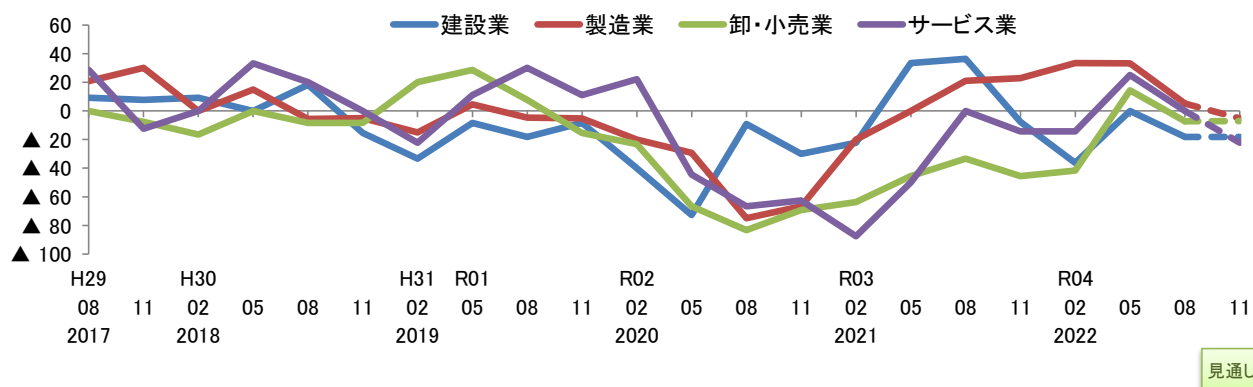
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲3.8（前回調査比 24.2 ポイント下落）と前期の好転から大幅に悪化する動きとなり再びマイナスに転じた。業種別にみると、すべての業種で大幅な悪化となっており、卸・小売業は D I 値がマイナスに転じた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲11.4（今回調査比 7.6 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 15 村山北部「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 16 村山北部「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

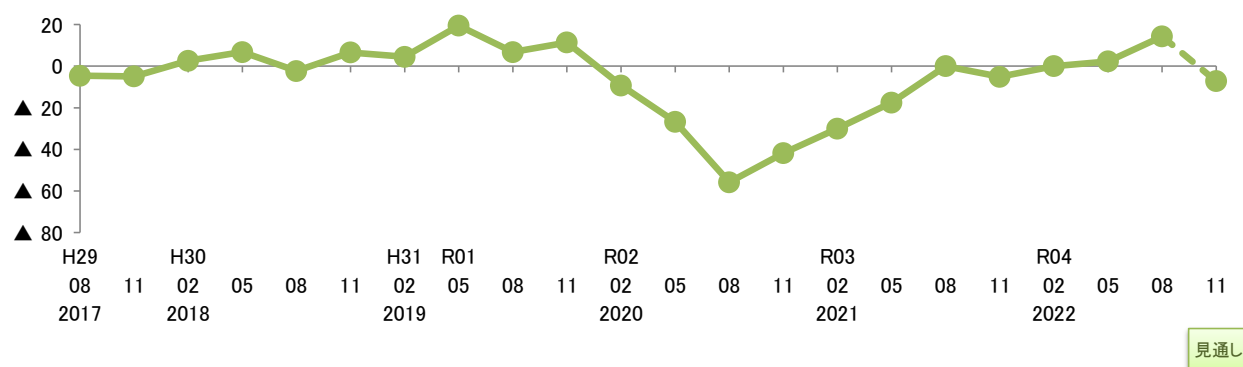
村山北部 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 03. 08 (n=51)	7.9	(17.4)	13.2	36.4	21.0	▲ 33.4	0.0
R 03. 11 (n=53)	▲ 3.8	(▲ 11.7)	▲ 9.8	▲ 7.7	22.8	▲ 45.5	▲ 14.3
R 04. 02 (n=48)	▲ 8.4	(▲ 4.6)	3.8	▲ 36.4	33.4	▲ 41.7	▲ 14.3
R 04. 05 (n=54)	20.4	(28.8)	▲ 22.9	0.0	33.3	14.3	25.0
R 04. 08 (n=53)	▲ 3.8	(▲ 24.2)	11.1	▲ 18.2	5.2	▲ 7.2	0.0
前回調査比	-	-	-	(▲ 18.2)	(▲ 28.1)	(▲ 21.5)	(▲ 25.0)
先行き見通し	▲ 11.4	-	-	▲ 18.2	▲ 5.3	▲ 7.1	▲ 22.2
今回調査比	(▲ 7.6)	-	-	(0.0)	(▲ 10.5)	(0.1)	(▲ 22.2)

③ 最 上

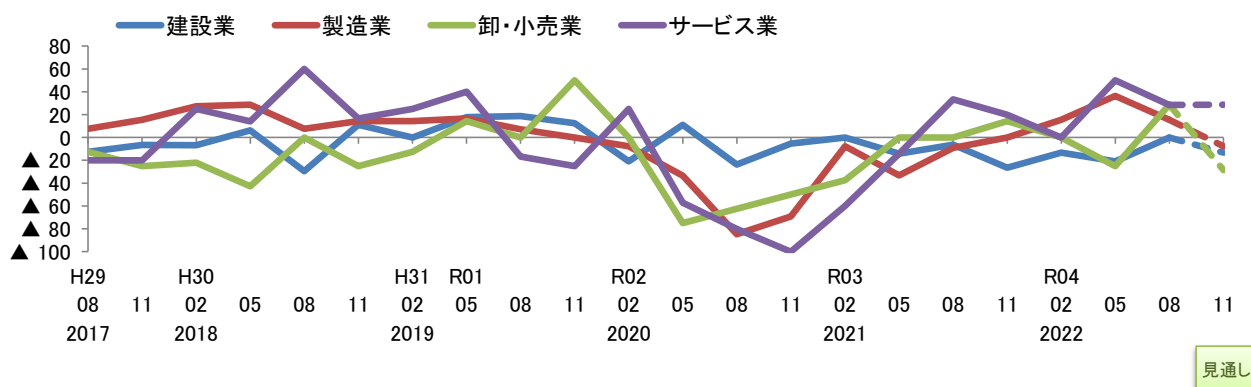
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は 14.3（前回調査比 12.0 ポイント上昇）と 3 期連続で改善となった。業種別にみると、建設業と卸・小売業で大幅な改善、製造業とサービス業で大幅な悪化となり、卸・小売業で D I 値がプラスに転じた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲7.2（今回調査比 21.5 ポイント下落）と大幅に悪化の見込みとなっている。

図表 17 最上「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 18 最上「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

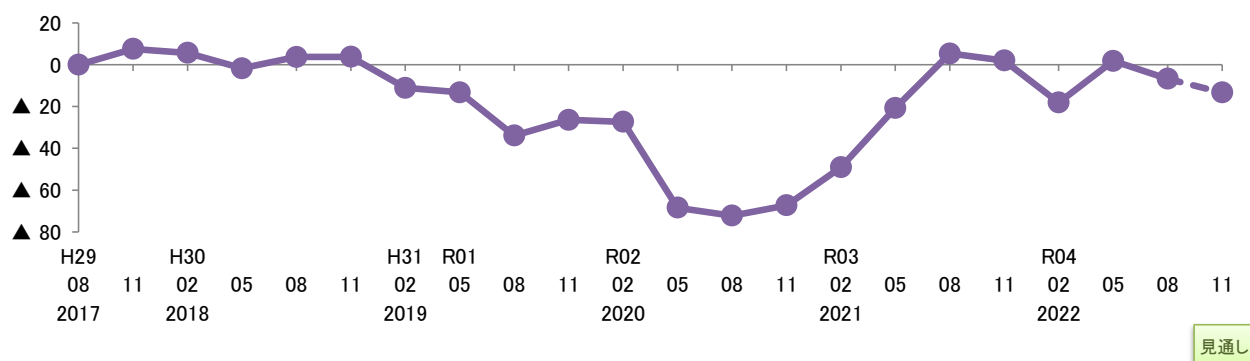
最 上 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建 設	製 造	卸・小売	サービ
R 03. 08 (n=41)	0.0	(17.5)	▲ 35.0	▲ 6.3	▲ 9.1	0.0	33.3
R 03. 11 (n=39)	▲ 5.1	(▲ 5.1)	▲ 14.6	▲ 26.6	0.0	14.3	20.0
R 04. 02 (n=39)	0.0	(5.1)	▲ 7.7	▲ 13.3	15.4	0.0	0.0
R 04. 05 (n=44)	2.3	(2.3)	▲ 15.4	▲ 21.0	36.4	▲ 25.0	50.0
R 04. 08 (n=42)	14.3	(12.0)	▲ 6.8	0.0	15.4	28.6	28.5
前回調査比	-	-	-	(21.0)	(▲ 21.0)	(53.6)	(▲ 21.5)
先行き見通し	▲ 7.2	-	-	▲ 13.3	▲ 7.7	▲ 28.6	28.6
今回調査比	(▲ 21.5)	-	-	(▲ 13.3)	(▲ 23.1)	(▲ 57.2)	(0.1)

④ 置 賜

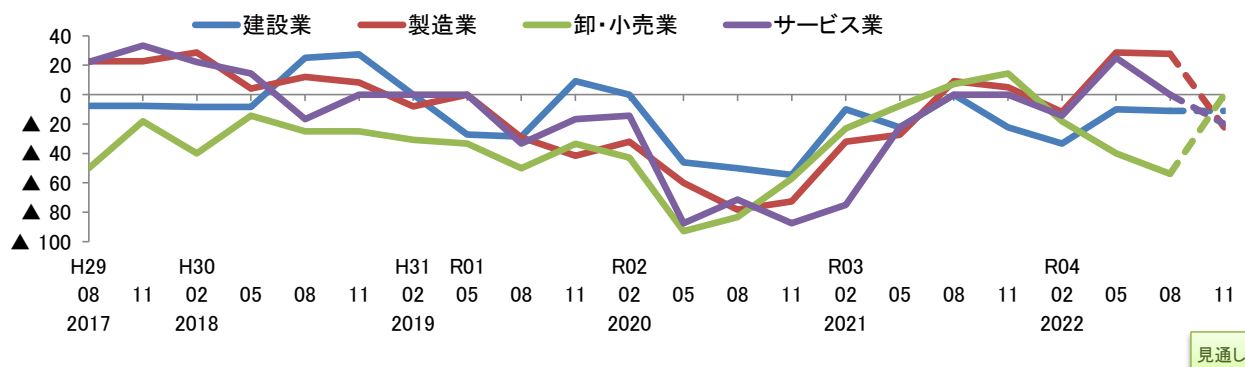
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲6.7（前回調査比 8.5 ポイント下落）と前期の好転から再び後退する動きとなっており、2 期ぶりにマイナスに転じた。業種別にみると、すべての業種で悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲13.3（今回調査比 6.6 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 19 置賜「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 20 置賜「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

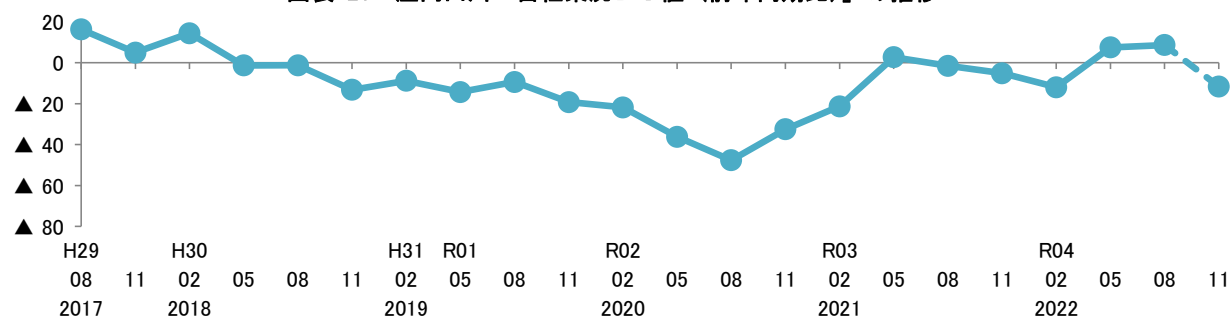
置 賜 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建 設	製 造	卸・小売	サービ
R 03.08 (n=56)	5.4	(26.1)	▲ 30.2	0.0	9.1	7.1	0.0
R 03.11 (n=49)	2.0	(▲ 3.4)	▲ 17.9	▲ 22.2	5.0	14.3	0.0
R 04.02 (n=44)	▲ 18.1	(▲ 20.1)	▲ 24.5	▲ 33.3	▲ 11.8	▲ 18.2	▲ 14.3
R 04.05 (n=54)	1.8	(19.9)	▲ 43.1	▲ 10.0	28.6	▲ 40.0	25.0
R 04.08 (n=45)	▲ 6.7	(▲ 8.5)	▲ 25.9	▲ 11.1	27.8	▲ 53.8	0.0
前回調査比	-	-	-	(▲ 1.1)	(▲ 0.8)	(▲ 13.8)	(▲ 25.0)
先行き見通し	▲ 13.3	-	-	▲ 11.1	▲ 22.2	0.0	▲ 20.0
今回調査比	(▲ 6.6)	-	-	(0.0)	(▲ 50.0)	(53.8)	(▲ 20.0)

⑤ 庄内田川

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は 8.7（前回調査比 1.2 ポイント上昇）と 2 期連続で改善となった。
業種別にみると、建設業と製造業で悪化となった一方、卸・小売業とサービス業で改善となった。

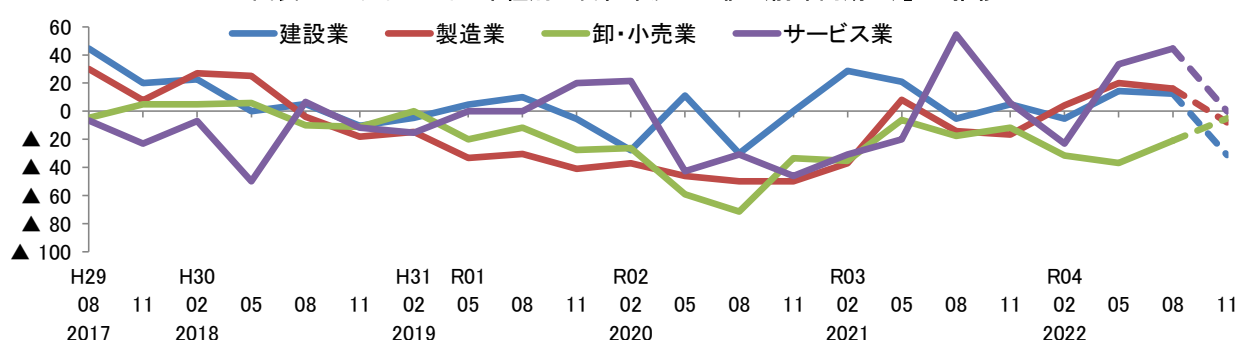
業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲11.6（今回調査比 20.3 ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれている。

図表 21 庄内田川「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

図表 22 庄内田川「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況 D I 値

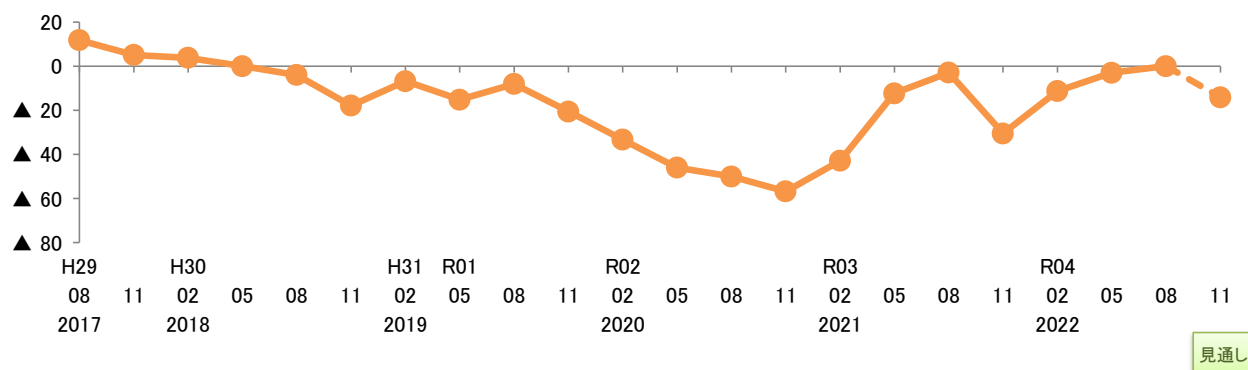
庄内田川 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 03.08 (n=68)	▲ 1.5	(▲ 4.2)	▲ 17.4	▲ 5.3	▲ 14.3	▲ 17.7	54.5
R 03.11 (n=79)	▲ 5.1	(▲ 3.6)	▲ 10.3	4.8	▲ 16.7	▲ 11.8	5.9
R 04.02 (n=75)	▲ 12.0	(▲ 6.9)	3.8	▲ 5.3	4.1	▲ 31.6	▲ 23.1
R 04.05 (n=80)	7.5	(19.5)	▲ 40.0	14.3	20.0	▲ 36.8	33.3
R 04.08 (n=69)	8.7	(1.2)	0.0	12.5	16.0	▲ 21.0	44.5
前回調査比	-	-	-	(▲ 1.8)	(▲ 4.0)	(15.8)	(11.2)
先行き見通し	▲ 11.6	-	-	▲ 31.3	▲ 8.0	▲ 5.2	0.0
今回調査比	(▲ 20.3)	-	-	(▲ 43.8)	(▲ 24.0)	(15.8)	(▲ 44.5)

⑥ 庄内飽海

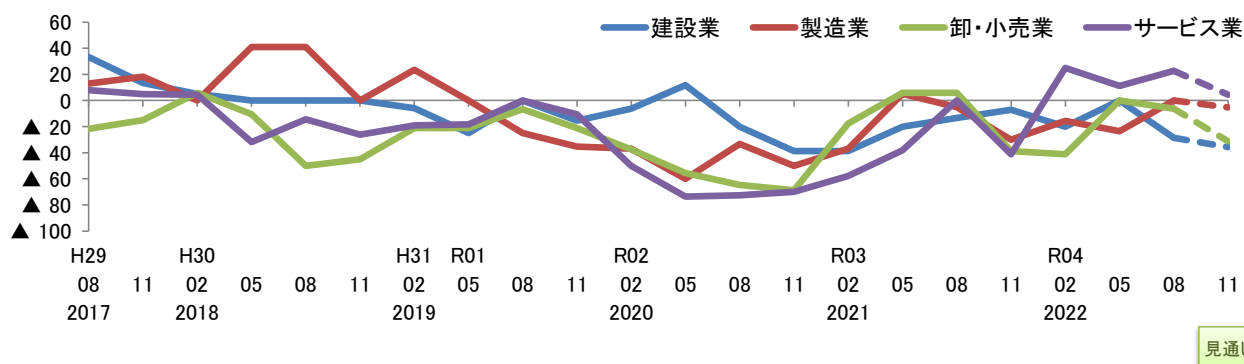
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は 0.0（前回調査比 3.0 ポイント上昇）と 3 期連続で改善となった。
業種別にみると、建設業と卸・小売業で悪化となった一方、製造業とサービス業で改善となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲14.1（今回調査比 14.1 ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

図表 23 庄内飽海「自社の業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 24 庄内飽海「業種別・自社の業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

庄内飽海 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 03.08 (n=69)	▲ 2.9	(9.4)	▲ 15.1	▲ 13.3	▲ 5.0	5.9	0.0
R 03.11 (n=69)	▲ 30.5	(▲ 27.6)	▲ 20.3	▲ 7.1	▲ 30.0	▲ 38.8	▲ 41.1
R 04.02 (n=71)	▲ 11.3	(19.2)	▲ 8.7	▲ 20.0	▲ 15.7	▲ 41.2	25.0
R 04.05 (n=67)	▲ 3.0	(8.3)	▲ 22.5	0.0	▲ 23.5	0.0	11.1
R 04.08 (n=71)	0.0	(3.0)	▲ 16.4	▲ 28.6	0.0	▲ 6.2	22.8
前回調査比	-	-	-	(▲ 28.6)	(23.5)	(▲ 6.2)	(11.7)
先行き見通し	▲ 14.1	-	-	▲ 35.7	▲ 5.3	▲ 31.3	4.5
今回調査比	(▲ 14.1)	-	-	(▲ 7.1)	(▲ 5.3)	(▲ 25.1)	(▲ 18.3)

II. 景気天気予報図

【天気図の凡例】

特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
$DI \geq 30$	$30 > DI \geq 10$	$10 > DI \geq \Delta 10$	$\Delta 10 > DI \geq \Delta 30$	$\Delta 30 > DI$

山 形 県

今期の業況 → 来期の見通し

庄内飽海

→

最 上

→

庄内田川

→

村山北部

→

置 賜

→

村山南部

→

今期の概況

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

来期の見通し

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

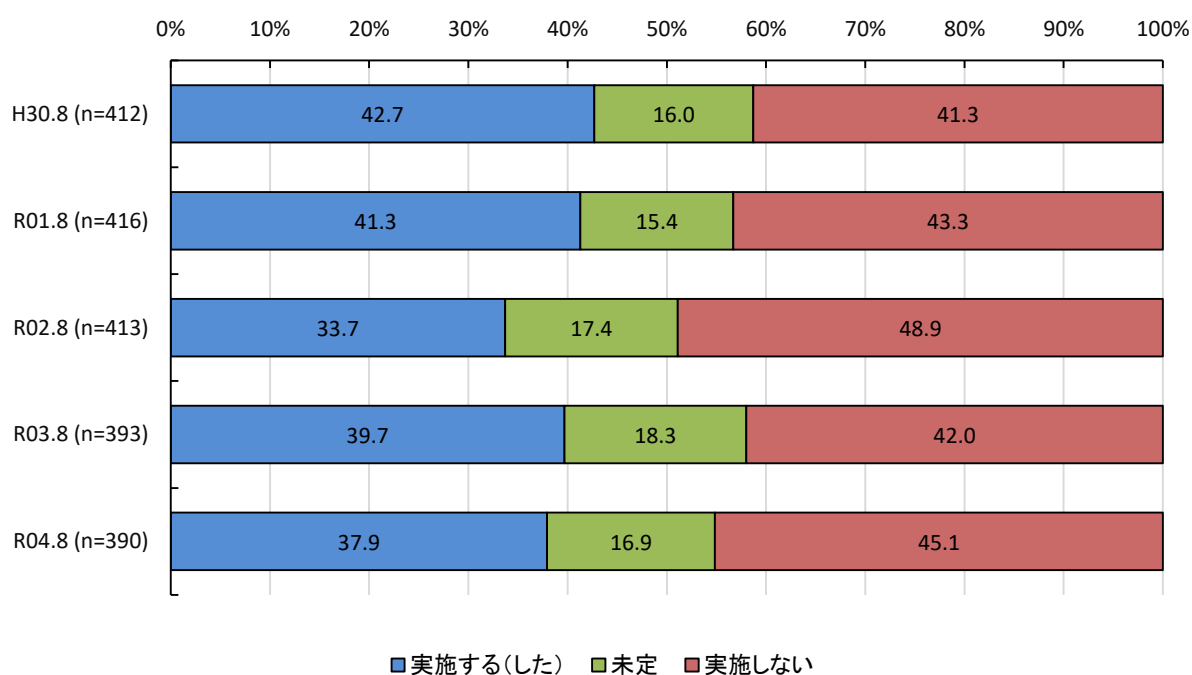
III. 特別調査

1. 設備投資動向について

(1) 設備投資動向

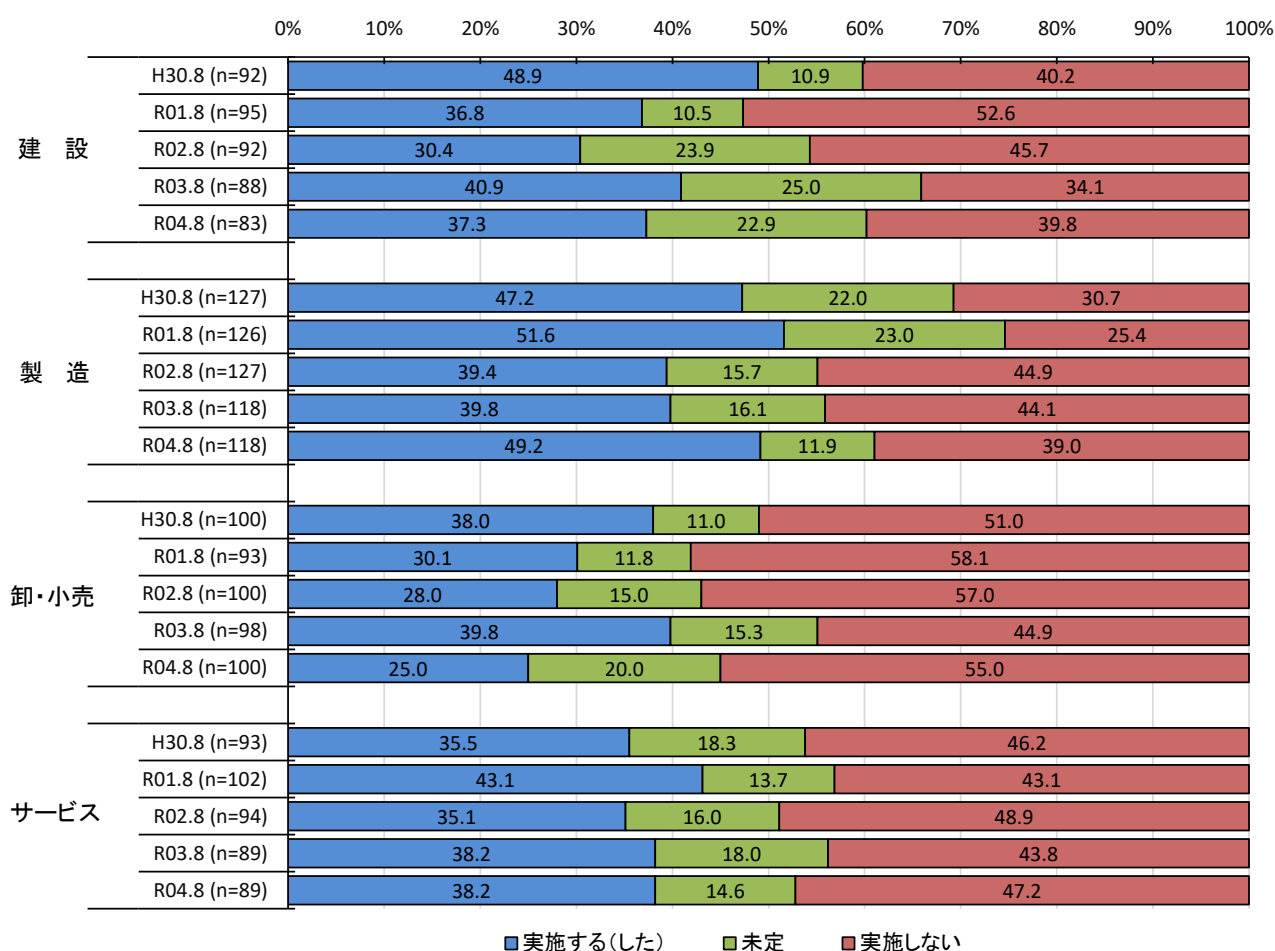
令和 4 年度中に設備投資を「実施する（した）」と回答した企業の割合は 37.9%と、前年度に比べ 1.8 ポイントの低下となった。一方、「実施しない」は 45.1%と 3.1 ポイントの上昇となった。

図表 25 「設備投資動向」の推移



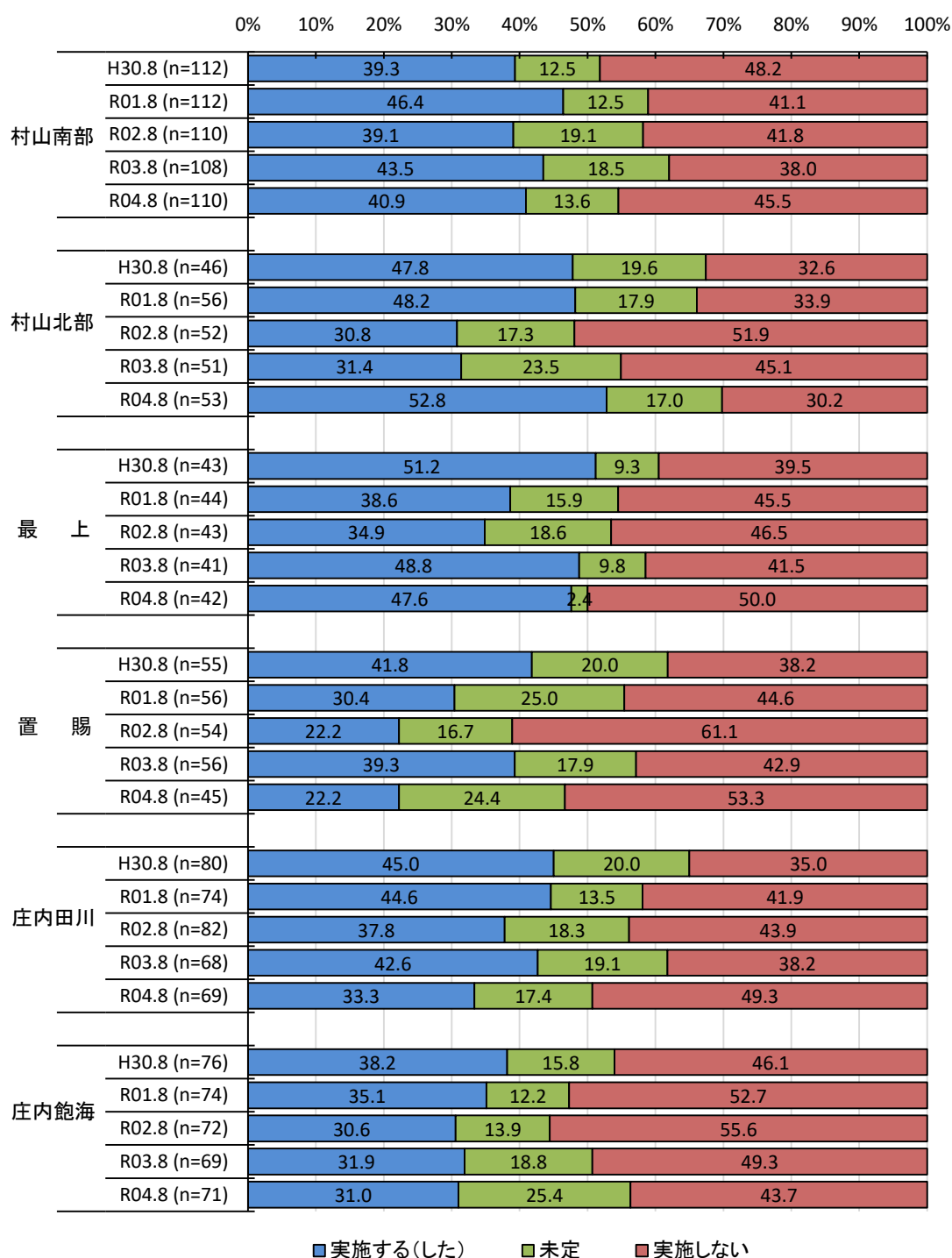
業種別にみると、「実施する（した）」と回答した企業の割合は、建設業が 37.3%（前年度比 3.6 ポイント低下）、製造業が 49.2%（前年度比 9.4 ポイント上昇）、卸・小売業が 25.0%（前年度比 14.8 ポイント低下）、サービス業が 38.2%（前年度比±0.0 ポイント）と、サービス業は横ばい、製造業で上昇、建設業と卸・小売業で低下となった。

図表 26 業種別 「設備投資動向」の推移



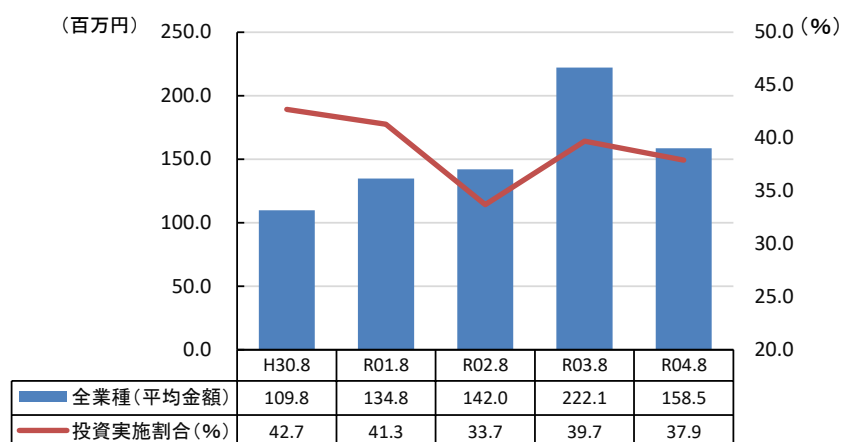
地域別にみると、「実施する（した）」と回答した企業の割合は、村山南部は 40.9%（前年度比 2.6 ポイント低下）、村山北部は 52.8%（前年度比 21.4 ポイント上昇）、最上は 47.6%（前年度比 1.2 ポイント低下）、置賜は 22.2%（前年度比 17.1 ポイント低下）、庄内田川は 33.3%（前年度比 9.3 ポイント低下）、庄内飽海は 31.0%（前年度比 0.9 ポイント低下）となり、村山北部で上昇となった一方、その他の 5 地域で低下となった。

図表 27 地域別 「設備投資動向」の推移



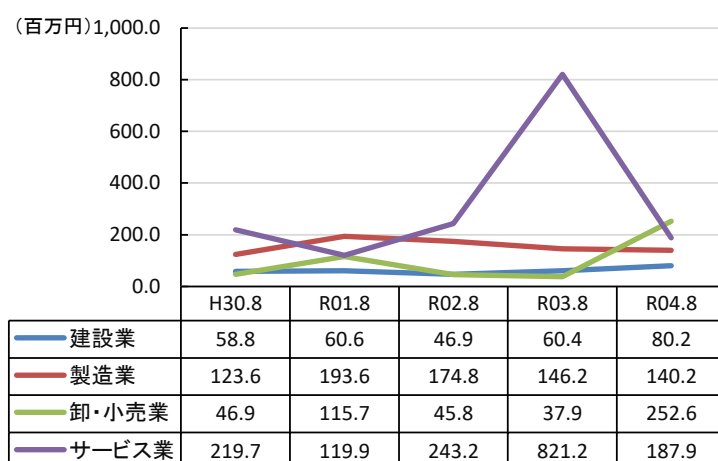
(2) 設備投資金額

図表 28 全業種 「平均設備投資金額と実施割合」の推移



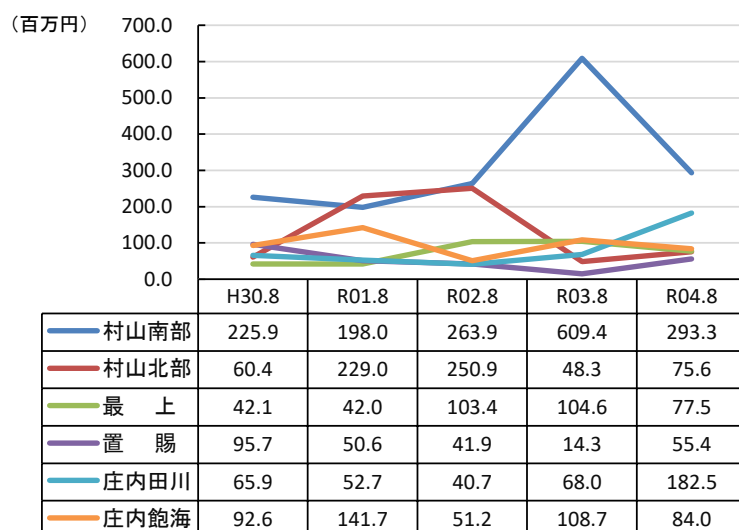
設備投資を「実施する(した)」と回答した企業に投資額を尋ねたところ、1社あたり平均設備投資金額(予定含む)は1億5,850万円で、前年度より6,360万円減少した。

図表 29 業種別 「平均設備投資金額」の推移



業種別にみると、建設業が8,020万円(前年度比1,980万円増加)、製造業が1億4,020万円(前年度比600万円減少)、卸・小売業が2億5,260万円(前年度比2億1,470万円増加)、サービス業が1億8,790万円(前年度比6億3,330万円減少)となり、建設業と卸・小売業で増加、製造業とサービス業で減少となった。

図表 30 地域別 「平均設備投資金額」の推移

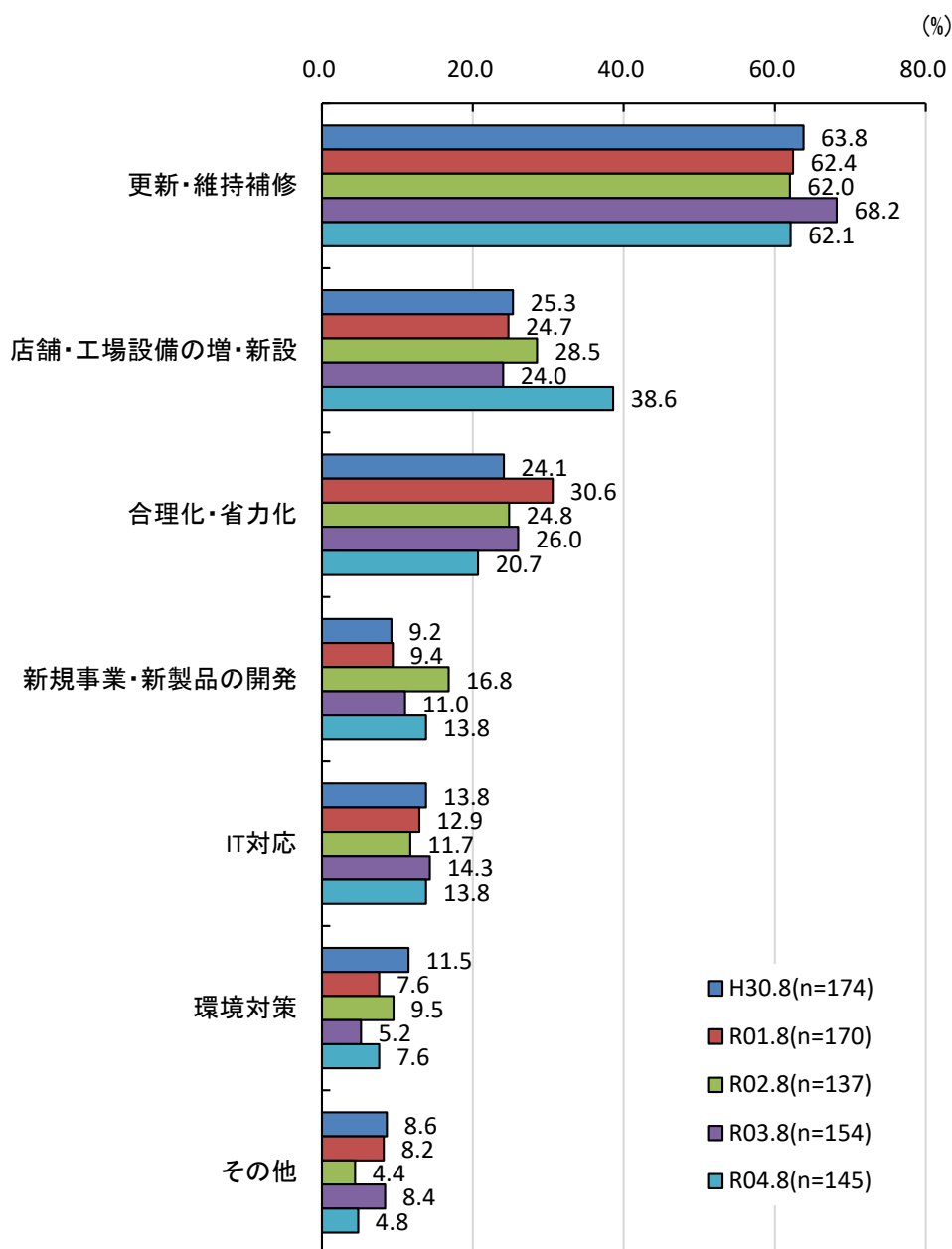


地域別にみると、村山南部が2億9,330万円(前年度比3億1,610万円減少)、村山北部が7,560万円(前年度比2,730万円増加)、最上が7,750万円(前年度比2,710万円減少)、置賜が5,540万円(前年度比4,110万円増加)、庄内田川が1億8,250万円(前年度比1億1,450万円増加)、庄内飽海が8,400万円(前年度比2,470万円減少)となり、村山北部、置賜、庄内田川で増加、村山南部、最上、庄内飽海で減少となった。

(3) 設備投資目的

設備投資の主な目的について尋ねたところ（複数回答）、「更新・維持補修」と回答した企業の割合が 62.1%と最も高くなった。次いで、前年は設備投資目的の第 3 位であった「店舗・工場設備の増・新設」が 38.6%で第 2 位となり、「合理化・省力化」が 20.7%で続いた。

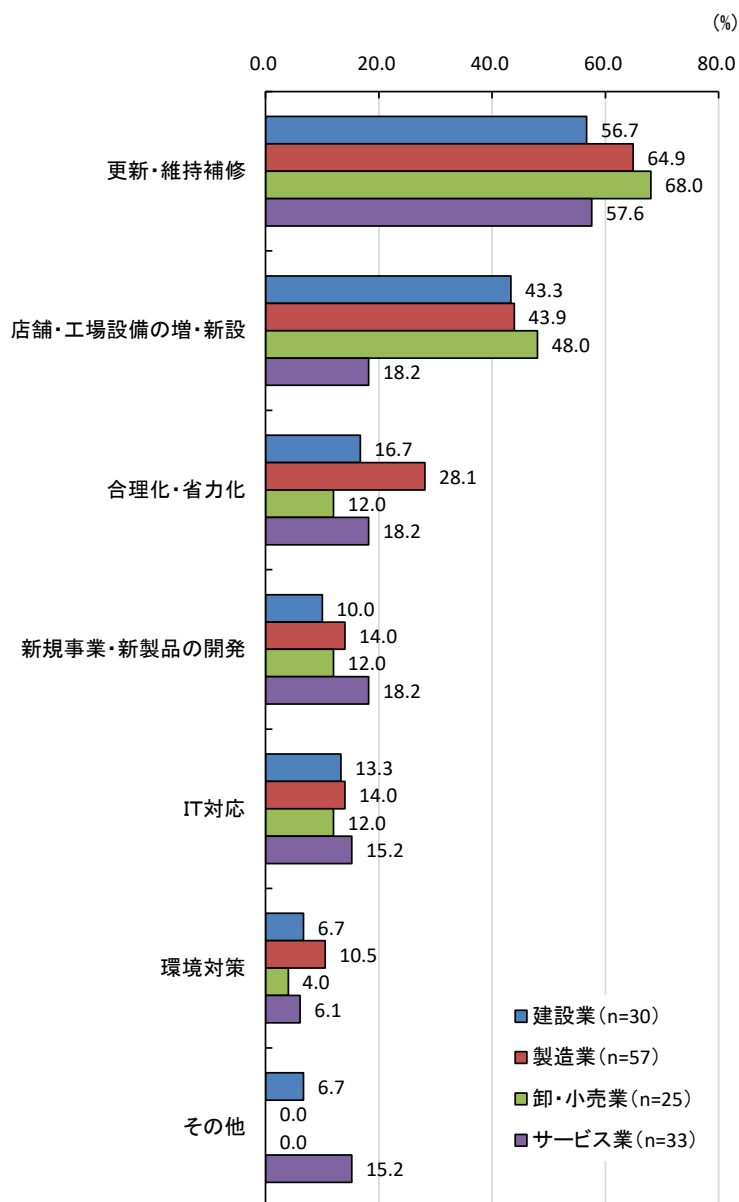
図表 31 「設備投資の目的」の推移（複数回答）



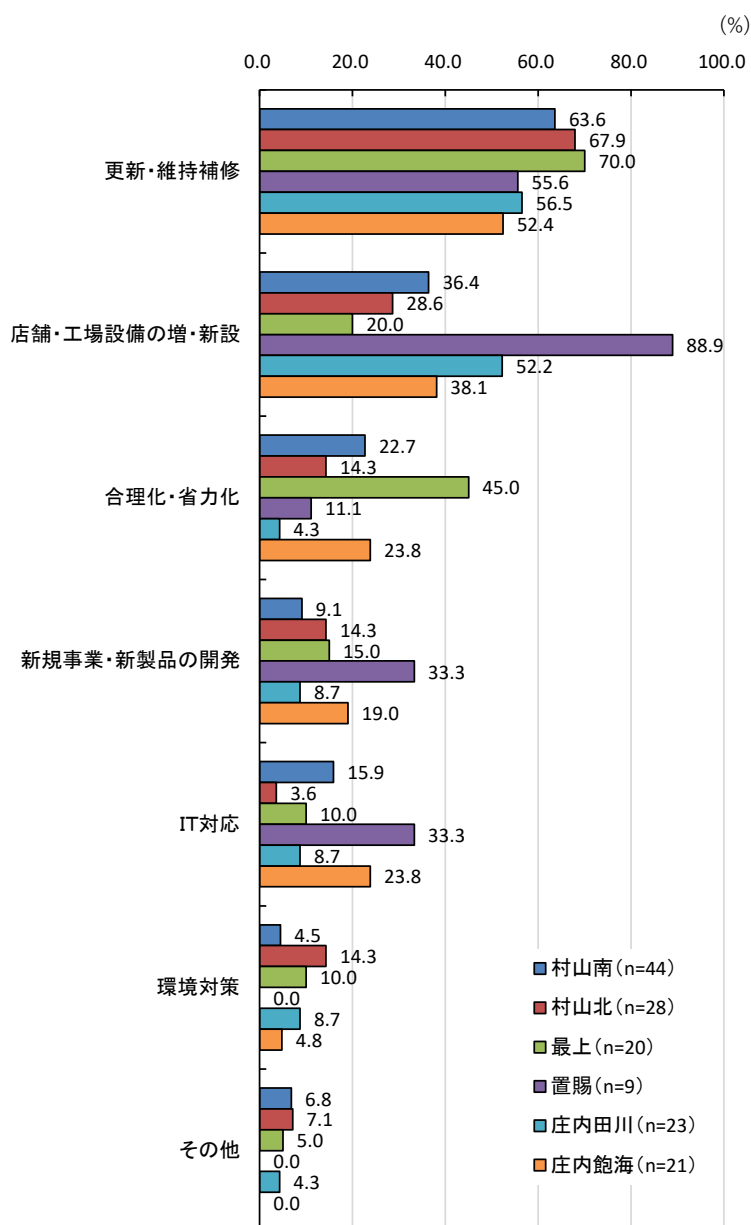
業種別に投資目的をみると、すべての業種で、「更新・維持補修」が最も高い割合となった。サービス業では「店舗・工場設備の増・新設」「合理化・省力化」「新規事業・新製品の開発」が同率で第2位となっているが、その他の3業種では「店舗・工場設備の増・新設」が単独の第2位となっている。

地域別にみると、置賜では「店舗・工場設備の増・新設」が最も高い割合となっているものの、その他の5地域では「更新・維持補修」が最も高く、第2位以下も地域によってばらつきがみられる。

図表 32 業種別「設備投資の目的」(複数回答)



図表 33 地域別「設備投資の目的」(複数回答)



<参考資料Ⅰ：地域別・業種別回答率>

(サンプル数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合 計
村山南部	22	34	43	51	150
村山北部	20	31	17	16	84
最 上	21	18	10	17	66
置 賜	23	27	25	12	87
庄内田川	29	37	28	28	122
庄内飽海	33	32	31	36	132
合 計	148	179	154	160	641

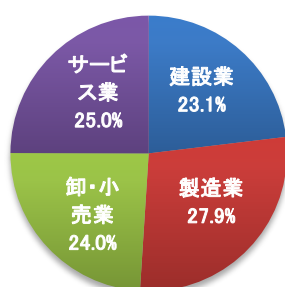
(回答数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合 計
村山南部	18	24	31	37	110
村山北部	11	19	14	9	53
最 上	15	13	7	7	42
置 賜	9	18	13	5	45
庄内田川	16	25	19	9	69
庄内飽海	14	19	16	22	71
合 計	83	118	100	89	390

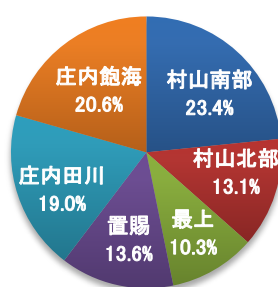
(回答率：%)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合 計
村山南部	81.8	70.6	72.1	72.5	73.3
村山北部	55.0	61.3	82.4	56.3	63.1
最 上	71.4	72.2	70.0	41.2	63.6
置 賜	39.1	66.7	52.0	41.7	51.7
庄内田川	55.2	67.6	67.9	32.1	56.6
庄内飽海	42.4	59.4	51.6	61.1	53.8
合 計	56.1	65.9	64.9	55.6	60.8

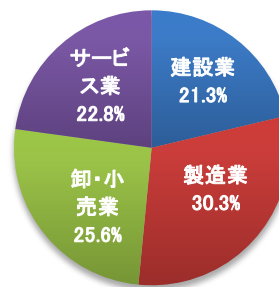
サンプル割合（業種別）



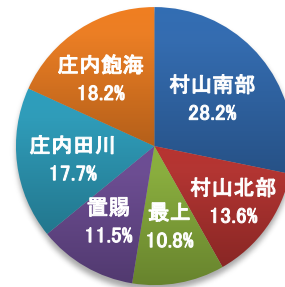
サンプル割合（地域別）



回答社割合（業種別）



回答社割合（地域別）



<参考資料Ⅱ：調査の概要>

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査（一部 F A X を利用）

● 調査期間

令和 4 年 8 月 1 日(月)～17 日(水)

● 地域区分

地域名	対象となる市町村名
村山南部	山形市、上山市、山辺町、中山町
村山北部	寒河江市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最 上	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置 賜	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内田川	鶴岡市、庄内町、三川町
庄内飽海	酒田市、遊佐町

● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について 3 肢択一方式を採用している。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている

項 目	選択肢 (択一方式)
自社の業況 (共通項目)	1. 良い 2. さほど変わらない 3. 悪い
業界の業況 (共通項目)	1. 良い 2. さほど変わらない 3. 悪い
売上高 (建設業を除く)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
完成工事高 (建設業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
営業利益 (共通項目)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
人員や人手 (共通項目)	1. 足りない 2. ちょうどよい 3. 余っている
資金繰り (共通項目)	1. 楽になった 2. さほど変わらない 3. 厳しい
原材料等の仕入価格 (製造業のみ)	1. 下がった 2. さほど変わらない 3. 上がった
製 (商) 品の仕入価 (卸・小売業のみ)	1. 下がった 2. さほど変わらない 3. 上がった
在庫状況 (製造業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
手持工事高 (建設業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った

(注) 各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ 3 肢択一方式を採用している

● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれ D I 値を算出する。D I 値とは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、算出方法は次の通り

例) 自社の業況 D I 値

= (「1. 良い」と回答した企業の割合) - (「3. 悪い」と回答した企業の割合)

たとえば「自社の業況 D I 値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向 (良くなっているか、悪くなっているか) についても分かる

ちなみに、他の D I 値についても同様に、選択肢「1. 」(「調査の内容」の「選択肢」欄をご参照のこと) を選んだ企業の割合から選択肢「3. 」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する

<お知らせ>

F S N 会員専用ホームページ (<http://www.bb-town.jp/cgi-bin/fsn.cgi>) にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちら是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ (<https://www.fir.co.jp/>) 「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

<お問い合わせ先>

株式会社フィデア情報総研

リサーチ&コンサルティング事業本部 熊本 均 / 手塚 綾子

〒990-0043 山形県山形市本町1-4-21 荘銀山形ビル8F

TEL : 023-626-9017

FAX : 023-626-9038

E-mail : kenkyuu@fir.co.jp

URL : <https://www.fir.co.jp/>